

# 自治連かぬま

## 第26号

発行 鹿沼市自治会連合会  
編集 同 広報部会  
事務局 市民部協働のまちづくり課内  
(☎六三一―二二六〇)

### 謹賀新年



鹿沼市自治会連合会

会長 小林 俊明

新年あけましておめでとうございます。

自治会員の皆様におかれましては、夢と希望に満ちた新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。また、昨年中は、皆様のご理解とご協力をいただきながら、自治会連合会活動を推進できたことに対しまして、深くお礼を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の分類

が5類に移行になるなど、コロナウイルス

との共生のなかで徐々に普段の生活が戻りつつあると感じております。各自治会におきましても、これまでのコロナ禍の経験と知見を踏まえ、感染防止に努めながらイベントや地域の活動が再開されております。

しかしながら、長引くロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエルとパレスチナの紛争、物価やエネルギーの高騰など、ますます社会の不確実性が高まっており、先の見通せない状況が続いております。

このような時こそ、自治の力、住民の支え合い、心と心の結びつきが何よりも必要、かつ重要であると感じております。

近年は、鹿沼市全体で自治会加入率が低

下しており、自治会の役割意識が薄れていく傾向にございます。そのようなことから、鹿沼市自治会連合会では、加入促進特別委員会を立ち上げ、調査、研究に取り組みしているとございます。

自治会連合会といたしましては、多くの方々に自治会に加入していただき、地域住民が共に話し合える環境作りや、より良い地域づくりのための会議や研修会を実施し、自治会活動の一層の充実や継続に尽力したいと考えております。こうした活動を通じて、地域住民が寄り添い、支え合う地域の絆を深めてまいりたいと思っております。

結びになりますが、今年も、自治会員をはじめ、地域住民の皆様が、活気のある日常を取り戻し、安心して暮らせる1年となることを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 会活動報告

## 6月29日～30日 役員研修（福島県浪江町ほか）

東日本大震災の震災遺構である  
 請戸小学校の見学や、原子力伝承  
 館で当時の被災状況を研修しまし  
 ました。

また、リプルンふくしまでは特  
 定廃棄物埋め立て処分等について  
 環境再生の研修を行いました。

この研修で震災を自分事として  
 捉え、防災について考えるきっか  
 けとなりました。



## 8月3日 施設見学会（日環リサイクルワールド）

地域の生活環境を考えるうえで欠かせないゴミ問題に対す  
 る知見を深めるため、県の支援を受け廃棄物処理事業者であ  
 る(株)日環の現場視察を行いました。

県資源循環推進課による講義や、  
 日環作業員の現場における説明を  
 受け、再資源化を徹底し環境にや  
 さしい資源循環に取り組むことの  
 大変さや重要性、また、再資源化  
 には私たち一人一人の分別意識が  
 大切であることを再認識しました。



## 9月14日 地域包括ケアシステム、 コミュニティ・スクール研修会

社会部会では、地域包括ケアシ  
 ステム（地域の皆さんが住み慣れ  
 た地域で最期まで自分らしい暮ら  
 しを続けことができるよう、介護  
 予防・生活支援等を一体的に提供  
 する体制）とコミュニティ・ス  
 クール（地域の皆さんと学校が力  
 を合わせ、地域と一体となった特  
 色ある学校づくり）について、勉  
 強会を開催しました。



## 10月29日～30日 会長全体研修（茨城県常総市ほか）

平成27年の関東・東北豪雨にて  
 被災した茨城県常総市の防災研修  
 を受講しました。

また、佐藤信市長を講師として  
 行政懇談会を開催し、市政につい  
 て見識を深め、意見交換を行いま  
 した。



# 自治会連合

## 11月9日 中学生との意見交換会（栗野中学校）

栗野中学校の生徒と自治会連合会広報部会員が、「人が来てくれる町」、「幅広い世代が交流する町」、「安全安心な町」をテーマに話し合いました。

参加した中学生からは、「鹿沼にはお祭りがあるが、ついでに寄れるところがない、もつと遊べるスポットがあるといい。」、「道路や歩道の舗装が悪く危険、早めに直してもらう。」等、活発な意見が出ました。



## 12月13日 防犯・防火診断



犯罪や火災などが多くなる年末年始に向けて、地域ぐるみのパトロールを強化することを目的として、防犯協会・警察・市・消防・消防団の皆さんと防犯・防火対策の実施状況確認の巡回を行いました。



❀ 地縁による団体功労者総務大臣表彰

○磯町 鈴木 節也 会長

❀ 栃木県自治会活動功労者知事表彰

○幸町二丁目 星野 晴男 会長

❀ 栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰

○日吉町	関口 善治 会長
○西茂呂南	備仲 征二 会長
○見野	平井 好 前会長
○深程	金子 友昭 前会長

多年にわたり自治会活動に尽力し、その功績が特に顕著な方に対し、表彰されるものです。誠にありがとうございます。

## 専門部会紹介「広報部会」

自治会連合会では、4つの専門部会（総務・社会・生活環境・広報）を設置し、部会ごとに様々な取り組みを行っています。

「広報部会」では、自治会連合会の活動を周知するため、広報誌「自治連かぬま」を年2回発行しています。また、若者からの意見の活用や自治会への関心を高めることを目的に、高校生や中学生との意見交換会を定期的に行っています。



# 自治会協議会紹介

## 南摩地区

### 地区の概要

人口・・・二、六八四人  
 世帯・・・一、〇二七世帯  
 自治会・・・七単位自治会（佐目町・油田町・  
 下南摩町・西沢町二区・西沢町二区・  
 上南摩町・旭が丘）

市の中心市街から南西へ約5キロメートルに位置し、北西端から南東端方向に細長く伸びる豊かな自然に恵まれた農村地域です。地区の特徴としては、市内でも有名な上南摩のそば祭りが開催されていることや、全国でもトップレベルの品質を持ついちごの生産地となっていることが挙げられます。また、地区北部は地形的に水源地としての役割が期待され、現在、南摩ダムの建設が進められています。地域住民の多くは、ダム予定地を水源地とする南摩川流域の開けた土地を中心に生活しており、地区南部に広がる平地では稲作を中心とした農業が営まれ、失われつつある昔ながらの美しい田園風景を今に残しています。



▲南摩ダムの建設

### 協議会等の活動

もともと住民主体による地域活動が活発に行われている地域ですが、さらなる地域コミュニティの活性化のため協議会を軸とした各種団体との連携により、地域や学校との協働体制の強化に努めています。特に地区最大のイベントである「南摩フェスティバル」の開催に関しては、地域活動に携わるあらゆる団体から幅広く参加協力を頂く一方、中学生も積極的に活躍できる場を整えています。これらの活動を通して、未来を担う地域の後継者づくりに力を注ぐとともに、ずっと住み続けたい魅力ある地域づくりを目指していきます。



▲南摩フェスティバルの様子

## 板荷地区

### 地区の特徴

人口・・・一、四四一人  
 世帯・・・六〇四世帯  
 自治会・・・九単位自治会（板荷二区・板荷二区・  
 板荷三区・板荷四区・板荷五区・  
 板荷六区・板荷七区・板荷八区・板荷九区）

板荷地区は、市の北西部に位置し、森林と田園風景が広がる緑豊かな地域です。

毎年三月には、百五十年以上前から受け継がれている貴重な伝統行事であり、市無形民俗文化財の「アンバ様」が行われます。また、地元産の香り高い「そば」を味わえるそば店が地域の団体により運営されており、地区内外から人気を集めています。

### 協議会等の活動

協議会を構成する九つの自治会全てで、「自主防災会」を立ち上げ、自治会を中心に、板荷地区内の様々な団体が構成する自主防災協議会も組織されました。昨年九月には、初めて地区全体の避難訓練を実施し、住民の防災意識の向上を図りました。

また、十月には当協議会が中心となって、四年ぶりに「敬老会」を開催しました。久しぶりの大きなイベントとなりましたが、参加者から大変好評をいただきました。

今後も住民同士が協力し、助け合いながら、住みよい地域づくりに取り組んでいきます。



▲板荷地区敬老会



▲自主防災協議会避難訓練